

【地方創生推進】半田市中心市街地活性化推進事業

(総合戦略 基本目標1～3)

事業概要	本市の中心市街地（名鉄知多半田駅～JR半田駅～半田運河の周辺）において、来街や活動の多様な目的にかなう場づくり・環境づくりを行い、中心市街地エリアの価値の向上を図る。中心市街地に創業等の様々なチャレンジができる機会や場所を設け、まちづくりの担い手の育成につなげていく。
主な取組	1. 中心市街地活性化事業 【基本目標1・施策Ⅰ・③持続可能な商業の振興】 令和6年5月に中心市街地活性化協議会を設立し、民と公で協議しながら中心市街地活性化基本計画を策定し具体事業の実践に向けた体制を構築した。 また、11月にコココリン（半田市創造・連携・実践センター）を設置し、産業人材育成の拠点として、創業への関心を高めるプログラムを実施し延べ212名の参加を促し、うち2件の屋号を持った活動開始につなげた。 さらに、知多半田駅前と半田運河で居場所づくりの実証実験、知多半田駅東ロータリーの改修に向けた基本構想の策定を行った。半田運河エリアでは交流拠点Lunga（小栗家住宅）を設置し、民主導の運営体制構築や、低未利用地調査、タウンミーティングを通して情報収集やネットワークづくりに寄与した。 2. 半田運河活性化推進事業 【基本目標2・施策Ⅰ・②回遊性の向上】 半田運河の景観や周辺観光施設、醸造の歴史・文化を活かしたイベントを充実させることにより、年間を通じた賑わいの創出を図る。四季を感じる装飾（風鈴等）を半六庭園に設置し、写真映えするスポットを創出する「半田運河誘客スポット設置事業」を実施し、半田運河の魅力の発信を強化した。 半田運河周辺のブランディングを行ったことにより観光入込客数の増加につながり、広く市民や観光客に半田運河の魅力を発信することができた。 3. シティプロモーション推進事業【基本目標3・施策Ⅲ・②まちのイメージの向上】 本市の都市イメージの向上と市民の愛着の醸成を図るための施策を展開する。都市イメージの向上につながる取組として、テレビやラジオなどのメディアへ直接アプローチするプロモート活動など情報発信を強化した。
事業費 (交付額)	65,789,800円(32,894,900円) ※交付率1/2

交付金対象事業の各種指標（KPI）

No.	指 標	2023年度 (R5) 当初値	2024年度 (R6) 実績値 (目標値)	2025年度 (R7) 実績値 (目標値)	2026年度 (R8) 実績値 (目標値)
①	地域の人口	5,325人	5,305人 (5,335人)	- (5,346人)	- (5,367人)
②	「創造・連携・実践センター」の 利用者の創業件数	0件	2件 (3件)	- (13件)	- (31件)
③	「創造・連携・実践センター」の来館者数 (カフェ、コワーキングスペース)	0人	10,360人 (3,900人)	- (8,500人)	- (9,200人)
④	名鉄知多半田駅～半田運河周辺の流動人口 (JR半田駅から半径450m圏内の1日平均歩行者数)	6,917人	6,985人 (7,017人)	- (7,167人)	- (7,367人)

有識者による効果検証

外部組織による本事業の評価	①	選択肢 (2択)	①地方版総合戦略のKPI達成に有効であった ②地方版総合戦略のKPI達成に有効とはいえない
---------------	---	-------------	--